

中山間地中心に渇水・高温被害

上越市農林水産部は6日の市議会農政建設常任委員会の冒頭、市内における今回の異常気象による農作物等の被害概況を明らかにしました。

乳用牛3頭、採卵鶏は

1280羽死亡

それによると、渇水・高温に伴う水稲被害は中山間地を中心に広がっており、その被害面積は70ヘクタールに及びます。そのうち、牧区での被害面積

が多く、4割を占めています。また、園芸・畜産分野でも枝豆やブロッコリーを中心に収量や品質低下が起きているほか、猛暑のために乳用牛が3頭、肉用牛1頭、採卵鶏1280羽が死亡していることも明らかにされました。こちらは8月30日時点の数値です。

空周一農林水産部長による被害概況の説明の後、私から、「報告を聴いて水稲の被害面積は実際よりも少ないと感じた。表の中には、浦川原区法定寺

や吉川区高沢入など規模の大きいところの被害が入っていない。今回の数値は途中経過という理解でいいか」「畜産被害は9月に出やすい。送風機などの申請時期は柔軟に対応してほしい」と訴えました。

空部長は、「今回は速報値として見てほしい。まだ拾い切れていないところがある」「畜産への支援は決めた期間設定の中でお願いしたい」と答えました。この問題は今後、一般質問でも取り上げていきたいと思います。



【タラノキ】(再掲) ウコギ科の落葉低木。漢字で、「榕木」と書きます。タラノキの芽は「タラの芽」として人気の山菜です。その芽を放っておくと葉になり、花が咲きます。その花が咲くのがいままんです。径3ミリほどの薄緑色の小さな花は大きく広がります。花言葉は「強い態度」「他を寄せ付けない」。写真は9月2日、吉川区代石にて撮影しました。

渇水・高温に伴う水稲の被害概況					
区名	地名	被害面積※ (8月25日時点、単位：アール)			
		多(枯死)	中	少	計
合併前上越市	下馬場、灰塚、小滝、上門前、地頭方、下稲塚、下箱井、寺、西田中、島田、藤塚、青野、東中島	727	525	218	1,470
安塚区	安塚、下船倉、上船倉、上方、信濃坂、須川、坊金、本郷	102	3	472	577
浦川原区	横住、熊沢、山印内、山本、小蒲生田、上岡、真光寺、谷、虫川、飯室、菱田、有島	105	65	30	200
大島区	菖蒲西、上達、西沢、田麦	0	0	3	3
牧区	岩神、荒井、高谷、高尾、切光、川井沢、大月、棚広、池舟、坪山、東松ノ木	901	1,175	883	2,959
柿崎区	上小野、百木	0	0	243	243
大潟区	内雁子、内雁子新田	0	0	23	23
頸城区	大蒲生田	6	0	0	6
吉川区	下小沢、原之町、山直海、西野島、町田、坪野、東寺、米山	195	12	64	271
板倉区	猿供養寺、栗沢、菰立、針、大野新田、田井、不動新田	70	586	50	706
清里区	上田島、棚田、北野	244	100	90	434
名立区	森、折戸、田野上、東蒲生田、平谷、鉢畑	66	0	42	108
計		2,416	2,465	2,119	7,000



イラストはクロホオズキです。

9月議会の初日。議会開会前に、約30分間、コンサートが開催されました。上越市議会史上初めてです。

コンサートは、「市民のみなさんから議会に親しんでもらう」のが目的とのこと。今回は60人近い市民の方が議場に来られ、市内のゴスペルグループによる「アメイジンググレイス」などの歌を楽しみました。



議場でコンサート

はしづめ法一の
活動レポート

No.2125 2023.9.10

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第七七二回

サプライズ

「これからサプライズがあります」、シギタ二さんがそう宣言した時、会場にいたみんなが、これからいったい何が行われるのだろうかと思いました。川谷地域運動会が無事終わって、懇親会に入ってまもなくのことです。

みんなの気持ちをさぐるように、シギタ二さんが「誕生日のいいないかな」と言ったので、「結婚記念日の人でもいるのか」という声も聞こえてきました。でも、そういうことではありませんでした。

元地域おこし協力隊の石川さんが川谷に移住して一〇年という節目の年だったので、それを祝い、石川さんを激励する企画が準備されていたのです。

石川さんにはまず、大きなケーキと花束が渡されました。続いて、シギタ二さんの子どもさんが、空気を入れて膨らませた数字をかかえて運んできました。運んできた数字は「1」と「0」です。膨らんだ数字を並べると「10」になります。子どもさんからは、「10」という数字と虹が描かれた絵もプレゼントされました。石川さんはもうびっくり、まさにサプライズです。石川さんだけでなく会場みんなが感激して拍手を送りました。

思いがけないプレゼントに石川さんは、「本当にびっくりしました。しゃべるのが苦手で農業しに来たのに、こういうとき何言っているか、わからないけどうれしいです」「一〇年間は皆さんからの手助けなしにはありませんでした。迂回路、芝火災など支えられてばかり……。これからは支えられている分、恩返ししなきゃという気持ちです」と挨拶しました。会場からは、「頑張れ」という声がかかりました。

三輪さんが、プレゼントを手にした石川さんの記念写真を撮ろうとしたとき、シギタ二さんが、「みんなと一緒にいいんじゃない」と言ったので、体育館の舞台の上か

ら石川さんを中心にして参加者全員の写真を撮ることになりました。撮影にあたり、舞台に向かって右側の人は片手を上げて「1」の文字を作り、左側の人は両手を上げて「0」を作りました。素敵な記念写真になりましたね。

この後、ケーキカットの儀式も行われました。ケーキを普通の包丁でどう切るか、少し考えた石川さんは、ゆっくりとケーキを切り始めました。なかなかうまく切れません。シギタ二さんもケーキ切りの応援に乗り出しました。

ケーキを切れば、当然、それを入れる皿なども必要です。誰かが、その食器を探しに旧校舎棟に走りまわりました。こうして、慰労会は、急遽決まった結婚式のような雰囲気になっていきました。

今回のことは何人かが密に企画したようです。石川さんは、「おれよりもずっと長く住んでいる人がおられるのに、もらっているのかなあ」とつぶやいていました。

そこは、遠慮することはありません。地域から離れていく人がいる中で、雪の多い川谷地域に住んでくれる人がいる。地域住民にとっては、それほど励みになることはありませんから。

カットされたケーキは二〇個くらいになったでしょうか。子どもや女性参加者中心に配られました。配られた人たちは、運動会でケーキを食べられるとは思っていませんでした。

この日は、法政米米クラブの内藤さんなど川谷地域に感謝の思いを持って地域外から参加している人が何人もいました。星山さんもその一人です。星山さんが仕事の関係で遅くなり、会場に到着したのは慰労会をそろそろ終えようかというタイミングでした。多くの方が「今年はお来ないのかな」と思っていたので、これもサプライズ、みんな大喜びでした。

大島中グラウンドでランタン浮かべ、思い出づくり

来年3月末の閉校を前に、大島中学校のグラウンドで「スカイランタンナイト」が2日、行われました。グラウンドにはPTA関係者だけでなく、同校の閉校を惜しむ地域の大勢のみなさんが集まりました。夜空にはランタンが百個以上浮かんだのではないのでしょうか。ライトアップされた校舎の外壁には、「50年間の感謝を胸に 大島健児奮い立て！」の横断幕が浮き彫りになりました。



集まった人たちは、ランタンを見上げながら、いろんな思い出を語り合っていました。

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	8月30日(水)	9月6日(水)
上越南消防署	0.053	0.047
上越北消防署	0.040	0.047
新井消防署	0.043	0.050
頸北消防署	0.047	0.047
頸南消防署	0.070	0.070
東頸消防署	0.047	0.047
名立分遣所	0.053	0.053
高士分遣所	0.053	0.057

ライオン像のある館でアート作品次々



直江津は「ライオン像のある館」でアート作品が次々と展示され、賑わっています。三八市宣伝後、訪れた3日には、きめ細かな描写で人を引き付ける季村江理香さんの作品を初めて観ました。季村さんは上越市五智出身とのこと、今後の活躍が楽しみです。(写真はスケッチ帳)